

## 野菜の需給・価格動向レポート(平成26年6月9日版)

## 1 主要野菜の生産出荷状況

種類	平年価格 (参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	5月の価格情報			生育及び価格の6月の見通し		
		指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額			上旬	中旬	下旬
		上旬	中旬	下旬			
葉 茎 菜	キャベツ	84.37 67.20	71	85	66	・入荷見込量：13,580t (100) ・主産地：千葉(48)、茨城(22)、群馬(6)、東京(4)	・千葉産は、生育は概ね順調で平年並みの出荷を見込むものの、終盤期に向かい中旬以降徐々に出荷量は減少する見込み。茨城産は、天候に恵まれ病害もないことから生育は順調で平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産及び茨城産が平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		86.69 81.66	69	88	68	・入荷見込量：3,700t (114) ・主産地：愛知(30)、茨城(22)、大分(14)、兵庫(10)、熊本(8)	
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	264.1	295	328	346	・入荷見込量：3,960t (102) ・主産地：茨城(63)、千葉(22)、輸入(6)	・茨城産は、病害の発生もなく生育は順調でピークに向けて増量してくる時期となり、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、春ねぎはほぼ出荷が終了し、夏ねぎの生育は概ね順調なことから平年並みかやや多めの出荷の見込み。 ・茨城産及び千葉県の出荷が総体として平年並みの出荷が見込まれることから、平年を上回っていた価格は平年に近づく見込み。
		334.73	324	291	279	・入荷見込量：190t (98) ・主産地：徳島(26)、奈良(18)、香川(14)、三重(14)、大阪(9)、高知(9)	
	はくさい	67.05	44	45	45	・入荷見込量：5,200t (100) ・主産地：長野(52)、茨城(31)、群馬(16)	・長野産は夜温の低い日もあるが昼間は暖かいため生育は順調で平年並みの出荷の見込み。茨城産は、終盤を迎えて徐々に数量が減少し、主産地は6月中旬で出荷が終了する見込み。 ・長野産の出荷が平年並みと見込まれるもの、需要の引きが弱いことから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		77.96	67	68	75	・入荷見込量：2,700t (99) ・主産地：長野(85)、茨城(10)	
	ほうれんそう	376.10	423	498	404	・入荷見込量：1,290t (100) ・主産地：茨城(28)、群馬(24)、栃木(14)、岩手(12)、埼玉(6)	・群馬産は、高冷地からの出荷が主体となるが、最近の急激な気温の上昇により品質低下が若干見られるものの、生育は概ね順調なことから総体として平年並みの出荷の見込み。茨城産は、作付面積の増加に加え、生育は概ね順調なことから平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・群馬産及び茨城産が平年並み若しくはやや多めの出荷と見込まれることから、価格は平年並み若しくはやや下回って推移する見込み。
		396.89	444	505	436	・入荷見込量：500t (98) ・主産地：岐阜(79)、北海道(8)	
たまねぎ	レタス (結球)	156.23	124	115	112	・入荷見込量：8,670t (100) ・主産地：長野(75)、群馬(19)	・長野産は、現在は準高冷地からの出荷となっているが、最近の適度な降雨もあり生育は順調で、後続の高冷地においても順調であることから、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、干ばつ傾向で生育に若干の遅れがあったものの、5月下旬の適度な降雨により生育は回復したことから平年並みの出荷の見込み。 ・長野産及び群馬産で平年並みの出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		165.00	151	133	119	・入荷見込量：1,850t (99) ・主産地：長野(97)	
	たまねぎ	71.02	117	118	114	・入荷見込量：11,400t (95) ・主産地：佐賀(51)、香川(12)、兵庫(9)、輸入(6)、愛知(5)	・佐賀産は、5月上旬には干ばつ傾向により肥大の遅れがあったものの、総体としては平年並みの作柄であることから、出荷は平年並みの見込み。香川産は現在は定植の遅れが影響し平年より若干少ない出荷となっているものの、6月中旬以降は遅れも回復することが見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。 ・佐賀産及び香川産の出荷が平年並みの出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は平年に近づくものの、引き続き平年をやや上回って推移する見込み。
		71.02	128	118	113	・入荷見込量：3,200t (86) ・主産地：兵庫(53)、佐賀(39)	
果 菜	きゅうり	189.84	259	257	224	・入荷見込量：6,510t (95) ・主産地：埼玉(24)、群馬(18)、福島(15)、千葉(11)、茨城(9)、栃木(7)	・群馬産及び埼玉産は、ハウスの倒壊による影響で引き続き少なめの見込み。福島産は病害の発生もなく、花着きや着果状況も良いため生育は順調なことから、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、生育は順調であり無加温ものは最盛期を迎えるものの、主力の越冬ものが出荷の終盤から終了に向かうため、今後はやや少なめの出荷の見込み。 ・群馬産及び埼玉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。
		177.22	241	227	207	・入荷見込量：1,600t (93) ・主産地：宮崎(26)、高知(18)、愛媛(12)、福島(10)、徳島(8)、群馬(7)	
	トマト (大玉)	209.59	284	269	240	・入荷見込量：9,290t (100) ・主産地：栃木(26)、茨城(14)、千葉(14)、愛知(12)、熊本(11)、埼玉(4)、群馬(3)	・栃木産は、天候も安定して目立った病害の発生もないことから、生育は順調で平年並みの出荷の見込み。茨城産は大雪の被害を受けなかつた産地は概ね生育は順調であるものの、影響を受けた産地は平年より少ない出荷を見込んでいることから、出荷が多かつた前年より若干少なめの出荷の見込み。愛知産は天候に恵まれ生育は概ね順調であるため、平年並みの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が若干少なめであるものの、栃木産及び愛知産の出荷が平年並みと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
		228.53	293	284	257	・入荷見込量：1,900t (97) ・主産地：熊本(36)、北海道(15)、愛知(10)、石川(10)、福岡(10)	
	なす	297.07	346	346	331	・入荷見込量：3,950t (95) ・主産地：高知(32)、福岡(17)、栃木(11)、茨城(11)、群馬(9)、埼玉(3)	・高知産は、出荷が終盤を迎えて6月中旬ごろ終了する予定であるが、平年並みの出荷の見込み。福岡産は、病害もなく生育は順調でピークを過ぎ、今後は徐々に出荷は減少するが、平年並みの出荷の見込み。 ・高知産及び福岡産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		271.01	337	330	318	・入荷見込量：1,000t (91) ・主産地：大阪(25)、高知(22)、熊本(17)、福岡(11)、岡山(9)	
	ピーマン	308.36	335	274	245	・入荷見込量：2,340t (100) ・主産地：茨城(87)	・茨城産は、天候に恵まれ生育は順調であることから平年並み若しくはやや多めの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年並み若しくはやや多めと見込まれることから、価格は平年並み若しくは平年をやや下回って推移する見込み。
		283.10	291	234	207	・入荷見込量：440t (99) ・主産地：宮崎(38)、高知(22)、茨城(18)、大分(8)、和歌山(6)	
根 菜	だいこん	86.59	70	75	69	・入荷見込量：7,630t (100) ・主産地：青森(51)、千葉(28)、北海道(8)	・青森産は、干ばつ傾向であったが、5月中旬にまとまった降雨があり肥大が回復し、生育は概ね順調であり、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、終盤期を迎えているものの、降雪の影響などで出荷がずれ込んだことから、平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・青森産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産でやや多めと見込まれていることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
		94.24	69	77	64	・入荷見込量：2,200t (97) ・主産地：青森(46)、北海道(29)、鹿児島(6)	
	にんじん	156.99	114	116	134	・入荷見込量：6,450t (100) ・主産地：千葉(77)、埼玉(10)、輸入(3)	・千葉産は、天候に恵まれ生育は順調なことから、径の太いものの比率が増加しており、ピークを迎える早だしの産地の後続の産地も順調に出荷される見込みであることから、平年よりやや多めの出荷の見込み。埼玉産は、大雪と干ばつの影響で肥大が若干遅れが生じていることから少なめの出荷の見込み。
		148.36	105	103	101	・入荷見込量：2,200t (94) ・主産地：長崎(55)、和歌山(24)、徳島(12)、兵庫(8)	・千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれるもの、6月から平年の価格水準が下がる時期になることもあり、平年を下回っていた価格は平年並みに推移する見込み。

種類	平年価格 (参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	5月の価格情報			生育及び価格の6月の見通し	
		指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額				
		上旬	中旬	下旬		
いも	さといも 	-	284	325	490	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 273t (-)</li> <li>主産地: 鹿児島 (45)、宮崎 (22)、輸入 (13)、千葉 (12)</li> </ul>
		-	537	833	800	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 92t (-)</li> <li>主産地: 鹿児島 (61)、輸入 (19)、宮崎 (9)、沖縄 (8)</li> </ul>
	ばれいしょ 	131.80	123	116	120	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 8,630t (100)</li> <li>主産地: 長崎 (52)、静岡 (19)、千葉 (7)、茨城 (6)</li> </ul>
		131.80	128	125	129	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量: 3,300t (98)</li> <li>主産地: 長崎 (75)、熊本 (9)、静岡 (7)</li> </ul>

注:  
1 平年価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)  
2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは前年実績。  
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの取り扱いをもとに機構が作成したもの。  
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目に細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。  
8 キャベツの平均価格は上段が5月1~15日まで、下段は5月16日~31日までの価格である。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、4月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,871gで前年比97%、購入金額は、1,887円で同104%となり、購入数量・金額ともに前年を下回つた。また、小売物価統計によると、5月のキャベツの小売価格は、183円で過去5か年平均比109%となつた。レタスは、347円で同93%となり、過去5か年平均を下回つた。	生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)						主要野菜の小売価格(東京都区部)(単位:円/kg)						
	年	過去5か年平均		平成25年		平成26年		過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)
		購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比						
	1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103	1,775	106		198	267	135
	2月	4,463	1,624	4,553	1,652	4,646	102	1,742	105		211	234	111
	3月	4,836	1,772	4,961	1,769	4,903	99	1,861	105		200	200	100
	4月	4,747	1,838	5,019	1,809	4,871	97	1,887	104		248	206	83
	5月	5,103	1,902	5,257	1,861	5	0	0	0		169	183	109
	6月	5,092	1,885	5,249	1,897	5	0	0	0		137	0	317
	7月	4,423	1,712	4,456	1,783	5	0	0	0		153	0	322
	8月	4,324	1,713	4,422	1,741	5	0	0	0		140	0	415
	9月	4,768	1,803	4,577	1,863	5	0	0	0		149	0	506
	10月	5,238	1,861	5,225	1,932	5	0	0	0		158	0	449
	11月	4,993	1,671	4,852	1,806	5	0	0	0		162	0	421
	12月	5,142	1,882	5,152	2,093	5	0	0	0		162	0	521

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注: 過去5か年平均は、平成21~25年の平均。

注: 1 過去5か年平均は、平成21~25年の平均。  
2 平成26年5月の値は、5月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

4月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年同月比118%の9万7千トン、加工野菜は同97%の15万9千トン、野菜全体は、同104%の25万6千トンとなつた。このうち中国産野菜合計は101%の12万2千トンとなつた。	野菜の輸入数量						主な野菜の輸入数量						
	区分	平成24年		平成25年		平成26年1~4月		品目	輸入先	平成25年4月(A)		平成26年4月(B)	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比			(A)/(B)	(A)/(B)		
	生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	371,454	120	97,188	118	20,269	34,130	168	
	加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	601,981	101	158,748	97	16,685	26,334	158	
	野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	973,435	108	255,936	104	9,615	6,465	67	
	うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	478,025	107	121,839	101	7,338	4,559	62	
	中国産シェア	51		52		49		48		1,007	640	64	

資料: ベジ探(原資料) 財務省「貿易統計」

資料: 農林水産省「植物防疫統計」注: 平成26年4月は、速報値。

## 4 トピック — 果菜類の生産動向と野菜指定産地 —

